

KagoGIGA インフォメーション

③

鹿児島県教育庁義務教育課
令和3年10月①

いよいよ2学期が始まりました。2学期もどんどん授業でICTを使っていきましょう。
今回は、GIGAスクール構想の「肝」とも言える「クラウド」について取り上げます。

今回の話題 クラウド (クラウド・コンピューティング) について

クラウド活用のここがうれしい!! (特質と利点)

クラウドって…?

正確には、「クラウド・コンピューティング」といい、「インターネットを通じてソフトウェアやデータなどを利用するコンピュータの利用形態」のことを言います。

サーバー容量が十分に提供されているので、児童生徒数や利用量の変動に柔軟な対応が可能

サーバーの維持管理が不要

外部サーバーにデータを保存

安全にデータを管理でき、非常時にもデータを使って学習や業務が継続できる。

外部サーバーのデータを使ってソフトウェアを起動

端末に高い処理能力が不要

時間や場所、端末等の違い、地理的な学習環境等に左右されず情報共有が容易

インストールの手間が軽減

導入・運用のコスト削減

いつでも、どこでも、自分に合った教材での学習が可能

児童・生徒

教職員・学校

子供の学習の様子が確認できる。

効率的な教育用コンテンツへの投資

学習履歴を蓄積し、活用できる。

エビデンスに基づく取組の推進

教育費の負担軽減



保護者

参考:「教育ICTの新しいスタイル クラウド導入ガイドブック2016」(総務省)



教育委員会

ひとくちメモ

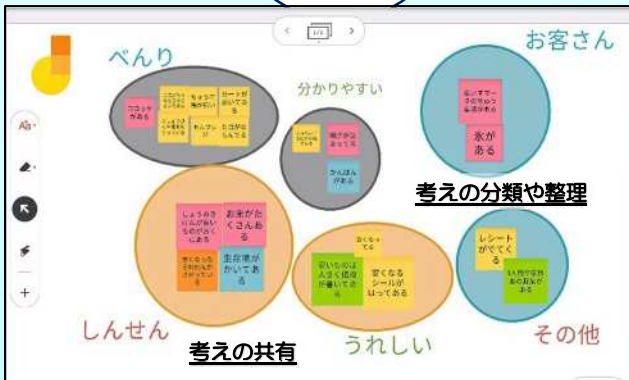
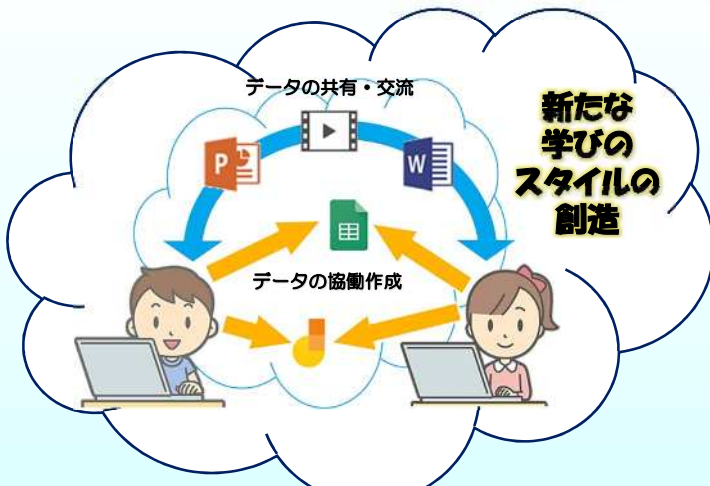
クラウドを活用するには、個人の「ID アカウント (①_____@kago.ed.jp)」と「②パスワード」が必要です。これは、家で例えると、「①表札@住所」と「②鍵」ということになります。

特にパスワードは、絶対に他人に知らせたり、安全が保障できないウェブサイト等で安易に入力したりしないよう、児童生徒に、セキュリティ意識をもたせることも、育成すべき「情報活用能力」の一つです。

安全なウェブサイトであっても、ネットカフェのPC等、不特定多数の人が使う端末等で、個人のID アカウントを使用してアクセスするのは危険です。

また、いつもと違う端末からログインした場合、ID アカウントやパスワードを保存させないようにすることや、終わった後に必ずログオフすることも重要です。

クラウドを使うと…何ができる？



共有・協働機能のある学習支援アプリの活用



クラウドベースのデジタル教材の活用



学習支援アプリの付箋機能でみんなの考えを共有した後、分類し合いながら考えを整理しています。

AIが解答データを基に個人の解答の傾向を分析し、次の問題を選択して出題してくれます。

クラウドって使って大丈夫なの？

GIGA スクール構想の学習系システムはクラウド利用を前提としています。

例えば、県域ドメイン「@kago.ed.jp」の中で Windows や Google のアプリを使用する時など、セキュリティ面の安全性が確保されたクラウドに、児童生徒の作成した学習の記録をアップロードしたり、クラウド上で教師と児童生徒、または児童生徒間で情報やデータを共有し合ったりするという活用が考えられています。

また、国のガイドラインで、第三者機関に適切なセキュリティ基準を満たしていると認証を受けた業者の提供するクラウドを使用することが求められており、教育委員会・学校が構築・管理・採用しているそうしたクラウド環境は、「組織内部」とみなされると明示されています。

つまり、クラウドにデータをアップロードすることは、個人情報保護条例等で問題とされる「組織外部へ情報を持ち出すこと」や「情報を外部に送信すること」にはならないということになりました。

但し、何もかもが OK というわけではありません。機密性の高いもの、プライバシーや著作権の侵害となるものは保存しないなど、所属先等のセキュリティポリシーをしっかりと確認して積極的に活用しましょう。

参考:文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」(令和3年5月版)ハンドブック

